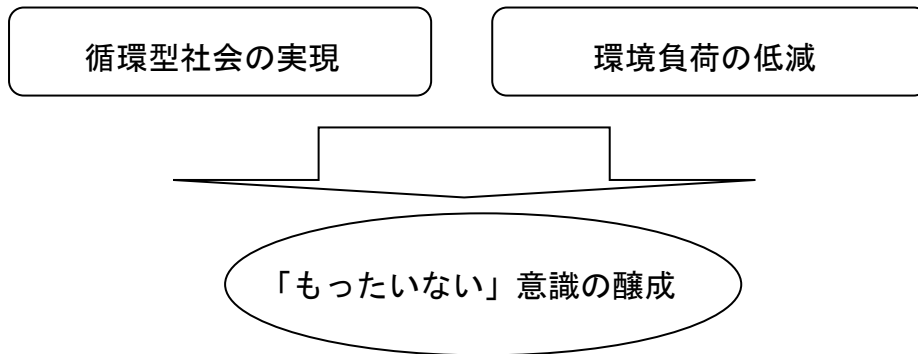


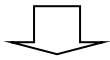
2 R（Reduce・Reuse）関連施策の充実について

ごみ減量の基本視点と基本理念 ～ 木津川市もったいないプラン ～

ごみ減量の取組みの目的は、単なる排出量削減のみならず、持続可能な循環型社会の実現及び環境負荷の軽減などより深い視点を基底において、「もったいない」という心を大切に、市民、事業者、行政が相互の立場と役割を理解して、より次元の高いごみ減量の取組を展開していくものです。



最初に… **Reduce 発生抑制**
不要となる物の「発生量」そのものをできるだけ減らす



次に… **Reuse 再使用**
まだまだ使える物はできるだけ繰り返し使う



最後に… **Recycle 再生利用**
繰り返し使えない物は資源として利用する



それでも残った燃える物は…
Recovery エネルギー回収
クリーンセンターで熱エネルギーとして回収し、利用する。



Remove 有害ごみ等の排除
有害ごみをリサイクルから排除し、適正に処理する



Reduce Reuse の促進

2R の取組を強化し、継続した減量施策の推進を図ります

現行のごみ減量施策の継続した取組みを進めるとともに、市民の意識やインセンティブの高揚につながるよう積極的な情報発信や市民の自主的な取組みの推進に向けたシステムづくりが必要となります。

発生抑制(リデュース)を推進するための取組み

施策 1-1 マイバッグ運動推進事業

施策 1-2 もったいない情報発信事業

☞ 「手付かず食品」の削減に向けた啓発を強化します

一人一人が「もったいない」を意識して行動すること。「食品ロス削減国民運動」の趣旨を事業者との連携体制を検討しながら、啓発を進めます。

☞ 情報発信ツールの有効活用を進めます

防災行政無線やごみ収集車をはじめ様々なツールによる情報発信の活用について検討を進めます。

再使用(リユース)を推進するための取組み

施策 2-1 リユースコーナー活用事業

☞ リユース食器等再使用システムの検討を進めます

祭りやイベント会場では、通常使い捨てのコップや皿の利用が多いことから、環境負荷の少ないリユース食器の導入についてイベント主催団体などと協議、検討を進めていきます

☞ 生ごみ処理容器レンタルサービスの検討を進めます

生ごみ処理容器の講習会・モニター制度の参加者からの意見や市民からアンケートをとるなどご意見を参考にしながら、生ごみ処理容器のレンタルサービス事業の検討を進めます。

施策 2-2 フリーマーケット推進事業

施策 2-3 学校用品リユース推進事業

【リデュース】

○ 「食品ロス削減国民運動」の周知啓発

消費者庁は関係6府省庁が連携して事業者と家庭、双方における食品ロスの削減を目指し、国民運動「NO-FOODLOSSプロジェクト」を展開しています。運動の趣旨を、事業者とも連携しながら、幅広く情報発信していきます。



- 実践活動事例の紹介や市内リサイクルショップ・環境配慮型店舗(マイバッグ運動推進店)や「もの」を修理・リメイクしてくれるお店など、いいものを長く使うという「始末」の心を大切にして、ごみの発生抑制につながる情報の収集・発信に取り組みます。

(例) 「木津川おもちゃ病院(ボランティア団体)」の取組み紹介

使える物は何でも一度修理して直る物は直して使って行こう、もったいない精神、子供達のおもちゃが壊れたらすぐに捨てるのではなく修理することで再度よみがえらせ一層愛着を感じて遊んでもらえば・・・

【前年度修理受付件数】 293 件

【修理済件数】 286 件

【達成率】 97.6%

【定期活動場所】 第1 土曜日 木津老人福祉センター

第3 土曜日 加茂ふれあいセンター(南加茂台)

(出典:木津川市社会福祉協議会 HP)

○ 情報発信ツールの有効活用

市政に関する様々な情報については、広報やホームページなどを活用し、定期的な情報提供・情報発信に努めていますが、今後、防災行政無線やごみ収集車のスピーカーなど、様々なツールによる情報発信の活用について検討を進めます。

【リユース】

○ リユース食器等の再使用システムの検討を進めます

祭りやイベント会場では、通常使い捨てのコップや皿が利用されており、その結果、「祭りのあとは大量のごみ」という状況が続いています。循環型社会形成の一環として、ごみの減量化を推進するとともに、環境負荷の少ないリユース食器の導入についてイベント主催団体などと協議、検討を進めていきます。

対象イベント

夏祭り(花火大会)・木の津まつり・加茂祭り・やましろまつりなど

⌘ 全国で、リユース食器を活用したイベントエコ化に向けたネットワークが形成されています。

リユース食器ネットワーク

使い捨て容器に替えて、繰り返し洗って使用するリユース食器の普及を中心に、3Rに取り組む全国をつないだネットワークです。

近畿圏内	デポジット三重	三重県四日市市山之一色町 1123
	すまいるあーす	滋賀県高島市安曇川町上小川 147-2
	地域環境デザイン研究所	京都市中京区壬生柳ノ宮町 9-13
	リユース食器のABC	大阪府茨木市美穂ヶ丘 19-C-406
	千里リサイクルプラザ	大阪府吹田市千里万博公園 4-3
	奈良ストップ温暖化の会	奈良県奈良市二条町 2-5-3

○ 生ごみ処理容器レンタルサービス事業の検討

平成27年4月から生ごみ処理容器の講習会・モニター制度を実施していますが、参加者からの意見や成功・失敗事例など情報発信していく予定としています。また、併せて幅広く市民からアンケートをとるなどご意見を参考にしながら、生ごみ処理容器のレンタルサービス事業の検討を進めます。

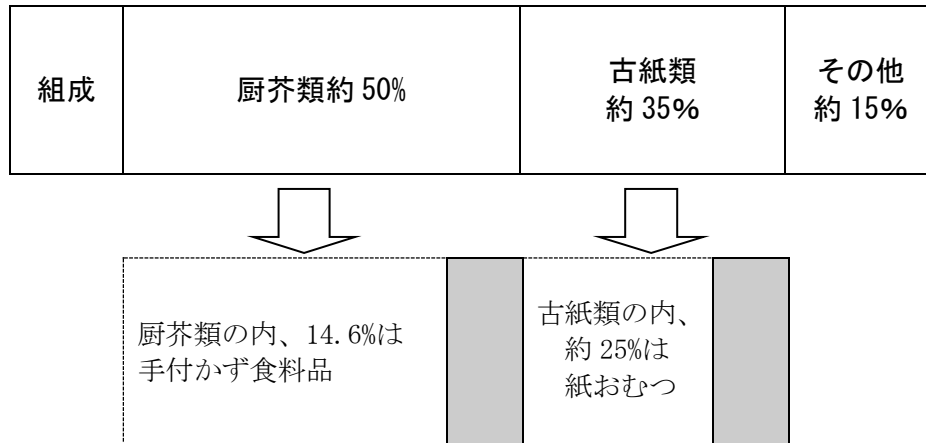
【対象となる処理容器（案）】

	土地	手軽さ	臭い	虫	堆肥
消滅タイプ処理容器	不要	○	◎	◎	×
コンポスター	必要	△	○	△	○
EMバケツ	必要	△	△	◎	◎
手動式処理容器	不要	◎	○	○	×

○ レンタルサービス情報の提供の推進

市民の 2R 活動の取組みを進めていくためには、市民にとって身近でわかりやすい発生抑制ツールを啓発するなどライフスタイル全体の 2R 効果を高めていく必要があります。

(ごみ組成分布)



布おむつのレンタルサービス(配達・回収・選択等)

開発地域に対する子育て世帯の転入が増えている一方、高齢化が進むなど木津川市は、全国でも特異な地域性を有しています。このような中、老人介護施設の新規立地が徐々に増えつつあるようにおむつを利用する方も増加傾向にあります。紙・布おむつのメリット・デメリットやレンタルサービス情報の紹介を進めます。